

環境活動レポート

2016年度版

(2016年1月から2016年12月まで)



株式会社 アサヒリソース

発行 2017年 3月31日

改訂 2017年 9月25日

①組織の概要

1. 商号 株式会社 アサヒリソース
- 代表者 代表取締役 藤田 幸男
(代表者は、平成29年6月 安藤哲也に交代しました。)
- 役員 専務取締役 安藤 哲也
2. 所在地 本 社： 〒239-0316
神奈川県横須賀市久里浜2丁目25番9-405号
(本社は登録のみ：業務に使用せず)
- 津久井事業所： 〒239-0843
神奈川県横須賀市津久井2丁目1002番
- | | | |
|----|---------------|---------|
| 敷地 | コンクリート床 | 330.57㎡ |
| | アルミ定置型坩堝炉 | 4.06㎡ |
| | 液物タンク 危険物(灯油) | 0.225㎡ |
3. 設立 平成 元年 5月 15日
4. 資本金 540万円
5. 事業活動 一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業, アルミニウムインゴットの製造
並びに一般貨物自動車運送事業
6. 従業員数 7 名

7. 施設の概要

1) 車 両

普通貨物	自家用	ロ ン グ	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
小型貨物	自家用	ダ ン プ	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
普通貨物	自家用	ダ ン プ	最大積載量	3,000 kg	運搬品目	別記
普通特殊	自家用	塵 芥 車	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
普通貨物	事業用	バ ン	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
普通貨物	事業用	キャブオーバ	最大積載量	1,000 kg	運転品目	別記
軽貨物	自家用	ダ ン プ	最大積載量	350 kg	運搬品目	別記
軽貨物	自家用	キャブオーバ	最大積載量	350 kg	運搬品目	別記
小型特殊	自家用	フォークリフト	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
小型特殊	自家用	フォークリフト	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記

2) 施 設

軽合金坩堝炉	炉形式	S E P-200
30 トンプレス機	形 式	S N P-30
8 トンプレス機	形 式	5 0 - 5 0 0
溶 融 機	形 式	SMN-0030A

環境保全対策

収集運搬容器は飛散・流出しないよう密閉ドラム及びポリタンクを使用
 ロープ・シート・ネットの使用により固形廃棄物の散乱に対処
 悪臭・振動・騒音など生活環境保全上支障がないような措置を行う

8. 運搬品目及び取扱処理量

平成28年

1月～12月

行政資源回収		産業廃棄物		一般廃棄物	
新聞	681,555 kg	混合	23,410 kg	燃せるゴミ	0 kg
段ボール	281,700 kg	紙くず	118,640 kg	容器包装	0 kg
雑誌	469,345 kg	廃プラスチック	4,170 m ³	不燃ごみ	0 kg
ボロ	176,840 kg	がれき	0 kg	紙類※	6,000 kg
一升瓶	1 kg	金属くず	10,450 kg	金属類※	2,400 kg
ビール瓶	0 kg			缶ビンペットボトル※	0 kg
P箱	0 kg				
アルミニウム	6,445 kg				
鉄	70,265 kg				

※紙・金属・缶・ペットボトル類はリサイクルに供します

9. 許可の内容

1) 産業廃棄物収集運搬業

市・県名	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
神奈川県	1401110402	平成24年10月23日	平成31年9月2日

・事業の範囲 事業の区分

収集運搬(積替・保管を除く)

・産業廃棄物の種類

廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類

※営業の範囲は、横須賀市を除く神奈川県的区域。

※取り扱う産業廃棄物は、特別管理産業廃棄物であるものを除く。

市・県名	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
横須賀市	第05810110402号	平成24年5月15日	平成34年5月14日

・事業の範囲 事業の区分

積み替え又は保管を含む

保管面積	保管上限	高さ
8.89㎡	15.80㎡	2.40m

・産業廃棄物の種類

廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く)

2) 一般廃棄物収集運搬業

市・県名	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
横須賀市	第60号	平成26年6月15日	平成30年6月14日

・事業の範囲 事業の区分

積み替え又は保管を除く

・廃棄物の種類

一般廃棄物(ごみ)

10. 決算売上高 年1回 12月31日

2014年度 66,620千円

2015年度 62,273千円

2016年度 58,045千円

11. 収集運搬料金

基本料金 450袋 1枚 700円

量、距離、種類によりますので、お問い合わせください。

046-847-1366 営業担当：安藤

12. 環境管理責任者 総責任者 安藤 哲也

株式会社アサヒリソース 組織図

平成29年3月30日

代表取締役

藤田 幸男

専務取締役(総務担当)

環境管理総責任者

安藤 哲也

環境目標及び活動計画の策定

環境活動レポートの作成

環境関連法規等の遵守評価

事務局(苦情受付窓口)

小野 南

管理責任者の補佐業務

環境文章及び記録の作成・管理

第一事業部

一般・産業廃棄物収集運搬事業

廃家電収集運搬事業

小川洋平

環境担当者

小川 洋平

使用車両

3 トンダンプ

2 トンバントラック

1 トントラック

第二事業部

海外輸出関連事業

アルミ溶解事業

龍華 健人

環境担当者

龍華 健人

使用車両

軽ダンプ

第三事業部

横須賀市町内会資源回収事業

横須賀市資源回収協同組合事業

藤田 幸男

環境担当者

藤田 幸男

使用車両

2 トンパッカー 2 トンロング

2 トンダンプ

軽トラック

②認証対象範囲

1) 業務範囲

一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業, アルミニウムインゴットの製造並びに一般貨物自動車運送事業

2) 対象事業拠点

津久井事業所 横須賀市津久井2-1002

③環境方針

株式会社アサヒリソース 環境方針

基本理念

株式会社アサヒリソースは、当社の基幹業務である産業廃棄物及び一般廃棄物収集運搬・古紙・鉄・非鉄金属リサイクルを通じて限りある天然資源の再資源化を目指すことによって、次世代に豊かで美しい地球を残すため地球環境保護に貢献いたします。

環境方針

- (1) 環境マネジメントシステムの構築と改善に取り組みます。
- (2) 環境関連の法令、条例、その他の要求事項を順守し、環境保護に取り組みます。
- (3) 事業活動において、扱う廃棄物の100%資源化を目指します。
- (4) 業務全般において省エネルギー及び地球温暖化物質などの排出削減に努め、汚染の予防を推進します。
- (5) 環境教育を通して社員の環境意識の向上を図り、全員が環境活動に取り組みます。

※環境方針は文書化し全社員に周知徹底するとともに、定期的に見直すと同時にホームページ等により社外に広く公開します。

2010年8月1日

株式会社アサヒリソース

代表取締役 藤田幸男



④環境目標

環境負荷項目		単位	2015 年度実績 (基準年)	2017 年度 中期目標	2016 年度 目標
地球温暖化	電力（一般）削減	kWh /百万円	7,940/62 百万円 =128 kWh/百万円	2014 年度売上高比 2%削減 118.6 kWh/百万円	2015 年度売上高比 1%削減 127 kWh/百万円
	電力（動力）削減	kWh /百万円	1,246/62 百万円 =20.1 kWh/百万円	2014 年度売上高比 2%削減 19.7 kWh/百万円	2015 年度売上高比 1%削減 19.9 kWh/百万円
	灯油削減	L/百万円	144/62 百万円 =26.6 L/百万円	2014 年度売上高比 2%削減 26.1 L/百万円	2015 年度売上高比 1%削減 26.3 L/百万円
	ガソリン削減	L/百万円	5,255/62 百万円 =84.7 L/百万円	2014 年度売上高比 2%削減 41.9 L/百万円	2015 年度売上高比 1%削減 83.9 L/百万円
	軽油削減	L/百万円	15,522/62 百万円 =250.4 L/百万円	2014 年度売上高比 2%削減 245.4 L/百万円	2015 年度売上高比 1%削減 247.9 L/百万円
	二酸化炭素削減	t-co ₂ / 百万円	57.93/62 百万円 =0.93 t/百万円	2014 年度売上高比 2%削減 0.91 t/百万円	2015 年度売上高比 1%削減 0.92 t/百万円
水	水道使用量削減	m ³	46.40 m ³	2014 年度比同等 (±3%) 26.5 m³	2015 年度比同等(±3%) 46.4 m³
廃棄物	自社が排出する一般廃棄物削減	Kg /百万円	33 kg	2014 年度比同等 (±3%) 32 kg	2015 年度比同等(±3%) 33 kg
資源	コピー用紙の削減及び再生紙使用	枚 /百万円	13,856/62 百万円 =223 枚/百万円	2014 年度売上高比 2%削減 280 枚/百万円	2015 年度売上高比同等 1%削減 220 枚/百万円
	グリーン購入の推進		グリーン購入の推進	グリーン購入の推進	グリーン購入の推進
産業廃棄物	回収産業廃棄物中の再資源化量の増加	%	144,175/160,530kg × 100 = 89	基準年度を下回らない	基準年度を下回らない

※購入電力の排出係数 0.000505 t-co₂/kWh(平成 26 年実績)

⑤環境活動計画

環境負荷項目		単位	2015 年度活動計画	担当	
地球温暖化	電力（一般）削減	kWh/ 百万円	昼休み時の事務所消灯の徹底	小野	
	電力（動力）削減	kWh/ 百万円	プレス機・溶融機の稼働時間の把握による消費電力の割り出し	小川	
	灯油削減	L/ 百万円	アルミ溶鉱炉のデータ把握・評価指標の検討、設定	龍華	
	ガソリン削減	L/ 百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月各車両の燃費データを報告、目標値を設定 ・各自車両の燃費向上方法を習得する 	小川	
	軽油削減	L/ 百万円		<ul style="list-style-type: none"> ・年1回エコ安全運転講習会の開催 	小川
	二酸化炭素削減	t-co ₂ / 百万円	上記活動によって削減		
水	水道使用量削減	m ³	洗車時の水の使用方法など節水意識の再確認、蛇口等の水漏れ点検	小川	
廃棄物	自社が排出する廃棄物削減	一般廃棄物	kg/ 百万円	自社で発生した廃棄物の分別徹底の再確認をし自社リサイクルルートへ	小川
		産業廃棄物			kg/ 百万円
資源	コピー用紙の削減及び再生紙使用	枚/ 百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・両面印刷及び縮小印刷等の有効利用 ・使用済み紙は自社リサイクルルートへ ・メール利用率のアップ 	小野	
	グリーン購入の推進		コピー用紙及び文房具の購入	小野	
	非常事態訓練		2016 年 9 月頃実施	小川	
産業廃棄物	回収産業廃棄物中の再資源化量の増加	%	産業廃棄物の分別の徹底	小川	

⑥環境目標の実績

2015年1月から2015年12月までの同時期と比較して目標の-1%削減が達成できた場合には○、目標の1%削減が出来なかった場合または環境活動計画で設定した目標を達成できなかった場合には×

環境負荷項目		単位	2015年度実績 (基準年)	2017年度 中期目標	2016年度 目標	2016年度 実績	結果
地球温暖化	電力（一般）削減	kWh/ 百万円	7,940/62 百万円 =128 kWh/百万円	2014年度売上高比 2%削減 118.6 kWh/百万円	2015年度売上高比 1%削減 127 kWh/百万円	135.2 kWh/百万円	×
	電力（動力）削減	kWh/ 百万円	1,246/62 百万円 =20.1 kWh/百万円	2014年度売上高比 2%削減 19.7 kWh/百万円	2015年度売上高比 1%削減 19.9 kWh/百万円	9.4 kWh/百万円	○
	灯油削減	L/ 百万円	144/62 百万円 =26.6 L/百万円	2014年度売上高比 2%削減 26.1 L/百万円	2015年度売上高比 1%削減 26.3L/百万円	99.9 L/百万円	×
	ガソリン削減	L/ 百万円	5,255/62 百万円 =84.7 L/百万円	2014年度売上高比 2%削減 41.9 L/百万円	2015年度売上高比 1%削減 83.9 L/百万円	152.7L/百万円	×
	軽油削減	L/ 百万円	15,522/62 百万円 =250.4 L/百万円	2014年度売上高比 2%削減 245.4 L/百万円	2015年度売上高比 1%削減 247.9 L/百万円	237.2 L/百万円	○
	二酸化炭素削減	t- co ₂ /百万円	57.93/62 百万円 =0.93 t/百万円	2014年度売上高比 2%削減 0.91 t/百万円	2015年度売上高比 1%削減 0.92 t/百万円	1.30 t/百万円	×
水	水道削減	m ³	46.40 m ³	2014年度比同等 (±3%) 26 m³	2015年度比同等 (±3%) 46.4 m³	45.8 m³	○
廃棄物	自社が排出する一般廃棄物削減	kg/ 百万円	33 kg	2014年度比同等 (±3%) 31 kg	2015年度比同等 (±3%) 33 kg	35	×
資源	コピー用紙の削減及び再生紙使用	枚/ 百万円	13,856/62 百万円 =223 枚/百万円	2014年度売上高比 2%削減 280 枚/百万円	2015年度売上高比 1%削減 220 枚/百万円	376 枚/百万円	×
	グリーン購入の推進		—	グリーン購入の推進	グリーン購入の推進	グリーンマークを確認	○
産業廃棄物	回収産業廃棄物中の再資源化量の増加	%	144,175/160,530kg × 100 = 89	89	89	85	×
非常事態訓練の実施				年1回実施	9月頃実施予定	9月30日実施	○

⑦環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取り組み内容

1. 環境活動計画の取組結果とその評価

- ・2016年1月から12月までの評価

今年は人事の変動並びに事業の見直し、新事業の開拓と目まぐるしい一年だった。そんな中での環境活動計画への取り組みは率直に言って難解な作業となった。しかし新入社員への環境教育では古参社員も原点回帰につながり、環境活動に対する意識を再び呼び起こすきっかけになったように思う。そのような観点からすると数値的には確かに後退気味ではあるが、意味のある後退だと総括できる。例年の懸案となっている基準値の見直しであるが、弊社の仕事内容が多岐に及んでいるので基準値と実際の数値が大きくかけ離れてしまうことが多々ある事例をいかに精査調整していくかが今後も大きな課題になっていくと思う。

- ・電力の一般使用料は、作業内容が変わったため屋外作業に比べて屋内作業の割合が増えたことにより照明等の使用量が増加した。

- ・動力は消費電力の多いプレス機・溶融機の使用が減少したため、目標達成となった。

- ・昨年予想した通りアルミの溶解により燃料である「灯油使用量」が大幅に増加した。今後はアルミ溶解に特化した環境基準が必要になる。

- ・ガソリンは小口の配送事業増加の為ガソリン車の使用の頻度が高くなった。軽油はその他トラック類の稼働は平年と変わらないが、アイドリングストップなどのエコドライブの定着により何とか目標を達成することができた。今後も続けられるようにしたい。

- ・廃棄物に関しては、小口の新事業により分別不可能な不燃廃棄物が増加し資源化が著しく困難になった。排出者との兼ね合いもあり次年度の課題とする。

- ・水の使用量は今後も同様に取り組むこととする。

再生紙の使用等は注文書、発注書に個人情報があり、すべてシュレッダー処分が義務付けられているため以前のように裏紙としての使用が不可能となり使用枚数の増加につながった。

2. 次年度(2017年1月から12月まで)の取組内容

環境負荷項目		単位	2015年度実績 (基準年)	2018年度 中期目標	2017年度 単年度目標
地球 温 暖 化	電力(一般)削減	kWh/ 百万円	128.1	2015年度売上高比 3%削減 124.3	2015年度売上高比 2%削減
	電力(動力)削減	kWh/ 百万円	20.1	2015年度売上高比 3%削減 19.5	2015年度売上高比 2%削減
	灯油削減	L/百万円	26.6	2015年度売上高比 3%削減 25.8	2015年度売上高比 2%削減
	ガソリン削減	L/百万円	84.7	2015年度売上高比 3%削減 82.2	2015年度売上高比 2%削減
	軽油削減	L/百万円	250.4	2015年度売上高比 3%削減 242.9	2015年度売上高比 2%削減
	二酸化炭素削減	t-CO2/ 百万円	0.93	2015年度売上高比 3%削減 0.902	2015年度売上高比 2%削減
水	水道使用量削減	m ³	46.4	2015年度比同等(-3%) 45.0	
廃 棄 物	自社が排出する一般 廃棄物削減	kg	33	2015年度比同等(-3%) 32	
資 源	コピー用紙の削減	枚/百万円	223	2015年度売上高比 3%削減 216.3	2015年度売上高比 2%削減
	グリーン購入の推進	-	グリーンマー クを確認	グリーンマークを確認	グリーンマークを確認
産 業 廃 棄 物	回収産業廃棄物中の 再資源化量の増加	%	89	89	89
非常事態訓練の実施			年1回実施		

⑧環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

見直し・改訂時		遵守確認・評価	
承認	作成	承認	評価
			

作成23年5月30日

見直し改定日29年3月30日

遵守状況29年3月30日

(株)アサヒリソース環境関連法規一覧

主な法規制	法律の内容	当社該当事項	管理部署 責任者	遵守状況確認
廃棄物処理法	自社発生廃棄物	自らの責任において処理する	藤田	○
	産業廃棄物収集運搬業	業許可申請・許可の更新期間5年	安藤	○
	一般廃棄物収集運搬業	業許可申請・許可の更新期間2年	安藤	○
	産業廃棄物管理票	保存期間5年	安藤	○
振動規制法・ 騒音規制法	指定地域内の工場等における事業活動や建設工事に伴う騒音(振動)を規制するため、騒音(振動)を発生させる特定施設の事前届出や建設作業の事前届出、規制基準の遵守等を定めている。	法の指定する指定地域内に当たらないため該当しない。	安藤	—
都道府県条例 NOx法	自動車の排気ガス中のNox及びPMの排出を抑制するため、対策地域内における一定規模以上の車両を使用する事業者のNox・PM排出抑制計画作成・提出、車種規制などを定めている。	該当なし	安藤	—
消防法・ 横須賀市火災 予防条例	危険物の取扱・危険物保管施設等に関することを定めている。	アルミ熔解炉の設置許可申請	宮川	○
		少量危険物貯蔵・取扱者	宮川	○
家電リサイクル法	家電廃棄物の収集、再商品化を推進するため、家電の製造業者・輸入業者、小売業者、消費者の義務等を定めている。	リサイクル券の3年間保管義務	安藤	○

違反・訴訟の有無

環境関連法規の違反及び訴訟は、設立から現在までありません。

外部からの苦情等の受付

現在までに排出事業者やお客様、その他第3者等からの苦情等は発生しておりません。収集運搬にあたり、近隣の皆様に騒音等で迷惑が掛からないように配慮しております。また、廃棄物の種類や量等がマニフェストと相違がないかチェックし、また運搬中に廃棄物の飛散流出等を起こさない方法で収集運搬に取り組んでいます。

化学物質の使用について

化学物質の使用はありません。

平成 29 年 3 月 31 日

担当 安藤哲也

⑨代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション 21 の取り組みにより、弊社の事業内容がここ数年変化を遂げてきました。

これまでのただ単に廃棄物を収集し中間処理場もしくは最終処分場まで運搬する事業からリサイクルできる廃棄物についてはピックアップする事業に発展したことです。そのために行政から積み替え保管の許可も取りました。以前にはなかった発想です。これも同制度の取り組みを推進することにより環境への取り組みに積極的に行動するようになったことの副産物だと思います。一方新しい事業を導入するたびに環境計画を見直さなくてはなりません。計画作成に不慣れな弊社にとっては毎年計画の見直しに悪戦苦闘しています。しかしただ目標をクリアすることではなく、未達の目標についてはなぜそうなったのかを見極めることが大切で、次へのステップアップの道しるべにするという観点でものを考えるようになってからは新たな計画作成の意義を念頭に入れつつ毎日精進いたしております。今後もエコアクション 21 の本来の目的を踏まえつつ取り組んでまいります。

次回の環境活動レポートは 2018 年 3 月 31 日頃の発行を予定しています。

2017 年 3 月 30 日

代表取締役 藤田幸男